

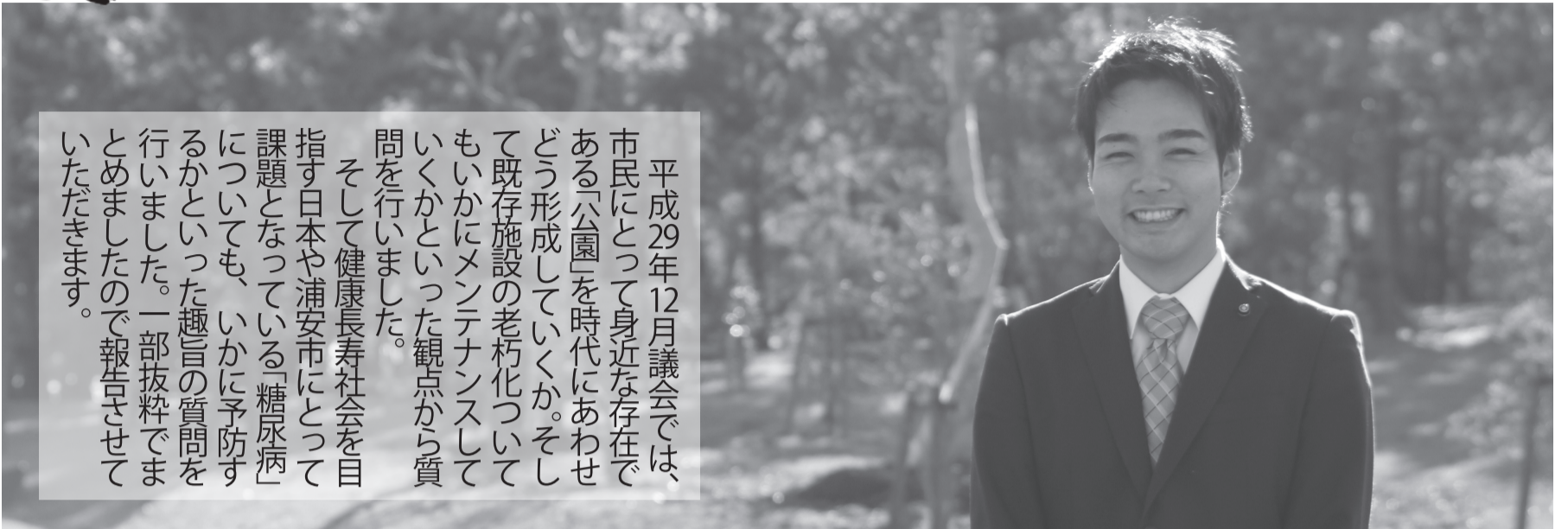


浦安市議会議員

柳きいちろう 議会報告

浦安レポート

2018.1 vol.14



平成29年12月議会では、市民にとって身近な存在である「公園」を時代にあわせどう形成していくか。そして既存施設の老朽化についてもいかにメンテナンスしていくかといった観点から質問を行いました。

そして健康長寿社会を目指す日本や浦安市にとって課題となっている「糖尿病」についても、いかに予防するかといった趣旨の質問を行いました。一部抜粋でまとめましたので報告させていただきます。

予防は治療に勝る

浦安市の公園について

整備・管理の行き届いた公園を目指そう

浦安市内では整備後40年を経過した公園が増加しており、施設の劣化や損傷が顕在化することが懸念されます。浦安市内、大小合わせ、約150もの管理する公園があることを鑑みると、今後進展する老朽化に対する施設の安全対策の強化、および優先度を付けて改修・更新を図っていく必要があると自身考えています。

中町地区においては、地域により高齢化が進み、求められるニーズが変化しています。また、元町地区については、公園数は多いものの、そのほとんどが小規模で、施設が老朽化した公園も多いなど様々な課題があります。

そこで、質問として、一人当たりの公園面積について浦安市全体と元町・中町・新町の地区ごとではどのようになっているのか。そしてそれぞれの公園ニーズは違っていると考えているのか質問をいたしました。

答弁としては「平成28年度末現在では、都市公園数は151箇所、面積が115.1haで市民の一人当たりの公園面

積は、6.9㎡となっています。地区別では、元町が極めて小さい状況となっていて、元町：0.7㎡/人、中町：8.3㎡/人、新町：15.7㎡/人となっています。

また平成26年に改定した緑の基本計画で行ったアンケート調査結果では、地区に限らず、身近な公園の整備や管理の行き届いた公園、災害に強い公園等が望まれています。加えて、元町地区では大規模な公園整備も望まれています」とのものです。

市としても、元町地域で唯一の大型公園となる浦安公園の建設を進めているところであり、公園の少ない元町地区のシンボルとして、防災拠点や緑と憩いの場となつてほしいと思います。また今後、市役所に来庁される方の多くが利用することを鑑み、市民の皆様の要望をしっかりと聞き、公園の利用のあり方を検討して参ります。



▲現在建設中の浦安公園

公園の整備予定

年度	整備内容
平成29年度	芝生広場など(旧第2庁舎跡地、郷土博物館前芝生広場周辺)
平成30年度	緑陰広場、遊具広場(総合駐車場)、猫実街区公園(旧第3庁舎跡地周辺)
平成31年度	多目的広場、トイレ・防災倉庫(車庫・倉庫周辺)

※元町・中町・新町について
 ・元町地区・古くからの浦安町域
 ・北栄、当代島、猫実、富士見、堀江
 ・中町地区・第1期埋立地
 ・1962年・1975年
 ・富岡、東野、弁天、舞浜、美浜、今川、入船、海榮
 ・新町地区・第2期埋立地
 ・1975年・1981年
 【明海高洲日の出】



建設予定地周辺の地図
公園の老朽化対策を推進しよう

次にアンケート調査結果からも、整備や管理の行き届いた公園が求められる中、浦安市公共施設等総合管理計画では、「整備後40年を経過した公園が増加しており、施設の劣化や損傷が顕在化することが懸念される」とのコメントがあり、現在の老朽化状況について質問したところ

「公園施設の現状としては、遊具等の塗装の剥がれ、ネットフェンスの劣化など利用に支障はないものの、経年で老朽化している公園施設が元町・中町地区で多くなつてきているところ。これら施設の破損などについて緊急を要する場合は随時対応するともに、公園施設長寿命化計画などを踏まえ計画的に補修・改修・撤去などを行っているところ。この答弁がありました。

公園の維持管理補修という、ピンとこない人もいるかもしれませんが、裏面の都市公園法上の施設の種類の図を見ていただくと理解しやすいと思いますが、多岐にわたります。浦安市で大小150もの公園の修繕費を積み上げると、非常に大きな財政負担なることから、

Profile

柳きいちろう(本名:柳毅一郎)
 1984年(昭和59年) 東京都文京区生まれ
 2002年(平成14年) 明治学院高校卒業
 2008年(平成20年) 早稲田大学商学部卒業
 2008年(平成20年) 株式会社商工組合中央金庫入庫
 2011年(平成23年) 浦安市議会議員初当選
 2012年(平成24年) 慶應義塾大学大学院経営管理研究科中退
 2015年(平成27年) 浦安市議会再当選(二期目)
 現在、浦安市議会教育民生常任委員会委員



しっかりとした計画が必要となりません。

遊具については、安全性確保の必要が高いことから年一回の点検をしているところ

今後の課題として、大変な作業ですが、遊具以外にも、公園施設について劣化や損傷が

施設種別	施設の例示等
園路及び広場	園路・広場
修景施設	植栽、花壇、噴水 等
休養施設	休憩所、ベンチ 等
遊戯施設	ぶらんこ、滑り台、砂場 等
運動施設	野球場、陸上競技場、水泳プール 等
教養施設	植物園、動物園、野外劇場 等
便益施設	飲食店、売店、駐車場、便所 等
管理施設	門、柵、管理事務所 等
その他	上記の他、都市公園の活用を全うする施設

都市公園法で定められた公園施設の種類の

糖尿病HUSH

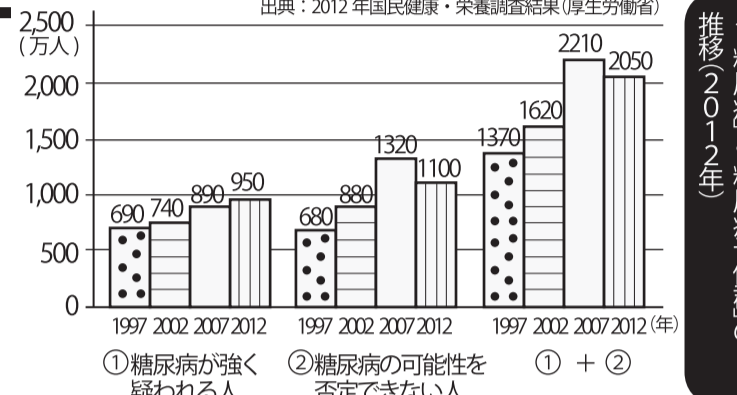
糖尿病対策の意義

日本には約1000万人の「糖尿病が強く疑われる人」が存在します。

も約1000万人おり、合計で総人口の15%を超える約2000万人の糖尿病患者お

糖尿病は、早期発見・早期治療、そして治療の継続が大切であり、日頃の生活

生活習慣病の早期発見・早期治療としては、浦安市国民健康保険被保険者においては



2型糖尿病について

そこで、糖尿病の約90%を占める「2型糖尿病」はカロリーの取り過ぎや運動不足が原因と言われています

担当の健康福祉部長より『2型糖尿病は、生活習慣によるリスクが複数重なった後

その次に、2次予防となる生活習慣病の早期発見・早期治療としては、浦安市国民健康保険被保険者においては

生活習慣病の発症する危険性が高い方には特定保健指導を実施しています。

糖尿病性腎症等重症化予防事業について

次に糖尿病について本当に怖いのは合併症であり、浦安市国民健康保険被保険者の医療費を見ると、人工透析患者の約6割が糖尿病性腎症になっています。

市の糖尿病性腎症等重症化予防事業では、特定健康診査で糖尿病の重症化が予測される対象者に対し、保健師と管理栄養士が電話や面接、家庭訪問を通じ保健指導を実施していますが、その

の取り組み状況について質問しました。

市民経済部長より『平成29年度当初の時点で、予防が必要と思われる対象者は427人となっております。

保健指導を受ける必要性を感じていない方もいることから、かかりつけ医との連携を図りながら、引き続き保健指導に取り組みたいと考えています。

今後の取り組みについて

平成29年11月21日に、地元順天堂大学浦安病院の准教授が座長を務める第一回市川浦安糖尿病性腎症フォーラムが開かれました。

千葉県においても29年度中に都道府県版予防プログラムを策定を予定しているとのことであり、その点も自身としても注視して参りたいと思います。

編集後記

浦安市プレパママ講座という夫婦を対象に二人で協力して子育てをする意義や産後の役割について、ワークショップを通じて考えていく講座に市民の一人として参加をさせていただきました。

その結果、「どちらか脳の一部に萎縮が見られたが、身体的暴力を伴うけんかに接してきた若者の脳の萎縮率は32%なのに対し、罵詈雑言のけんかに接してきた若者の萎縮率は19.8%と6倍も大きかった」という驚くべき報告でした。

その際、いただいた資料の中、福井大学、友田明美教授の体罰・暴言は子供の脳の発達に深刻な影響を及ぼすとの記載があり、友田教授の研究について調べてみて驚きました。

アメリカのハーバード大学で行った実証研究では、年齢層(18歳~25歳)、学歴が子どもを健やかに育むことが第一であり、浦安市としても夫婦間での言葉の暴力が子どもに深刻な負の影響があるといったことをしっかりと伝えていく必要があります。

は、医療保険者が保有する健診データなどを活用し、行政だけでなく、地域のかかりつけ医や糖尿病や腎臓の専門医らが連携をして、糖尿病性腎症の重症化を食い止めるためのネットワークを着実に構築していく必要があります。自身もできることを協力して参ります。

柳きいちろうへの連絡はこちらからお願いいたします。
住所 279-0013 浦安市日の出 1-3-3-1203
TEL 050-3630-8791
E-mail kiichiro.yanagi@gmail.com